

# 第44期決算公告

令和4年6月8日

愛知県豊橋市芦原町嵩山地32番地4

豊鉄建設株式会社

代表取締役 柴田 良昭

貸借対照表

(令和4年3月31日 現在)

(単位：円)

(資産の部)		(負債の部)	
<b>流動資産</b>	137,878,227	<b>流動負債</b>	44,516,563
現金及び預金	1,625,526	工事未払金	40,249,128
完成工事未収金	39,523,220	未払金	988,015
未収金	861,081	未払費用	1,146,411
契約資産	3,173,181	未払法人税等	182,500
未成工事支出金	347,388	預り金	491,509
貯蔵品	20,000	賞与引当金	1,459,000
短期貸付金	90,916,330		
前払費用	982,111		
その他流動資産	429,390		
<b>固定資産</b>	2,894,830	<b>固定負債</b>	3,500,000
<b>有形固定資産</b>	2,539,140	役員退職慰労引当金	3,500,000
建物	1,239,144		
機械装置	2		
車両運搬具	425,304		
工具器具備品	874,690		
<b>無形固定資産</b>	276,000	<b>負債合計</b>	48,016,563
電話加入権	276,000		
<b>投資その他資産</b>	79,690	<b>(純資産の部)</b>	
出資金	10,000	<b>株主資本</b>	92,756,494
差入保証金	500	資本金	20,000,000
その他投資その他資産	69,190	利益剰余金	72,756,494
		利益準備金	5,000,000
		その他利益剰余金	67,756,494
		繰越利益剰余金	67,756,494
<b>資産合計</b>	140,773,057	<b>純資産合計</b>	92,756,494
		<b>負債純資産合計</b>	140,773,057

# 個別注記表

## 1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

### (1) 固定資産の減価償却の方法

#### ① 有形固定資産

建物 定額法

その他の固定資産 定率法

なお、取得価額が10万円以上20万円未満の減価償却資産については3年間で均等償却する方法を採用しております。

#### ② 無形固定資産 定額法

### (2) 引当金の計上基準

#### ① 賞与引当金

従業員に対して支給する賞与の支出に充てるため、支給見込額のうち当期の負担額を計上する方法を採用しております。

#### ② 役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金の支給に充てるため、内規に基づく期末要支給額を計上しております。

### (3) 収益及び費用の計上基準

当社と顧客との契約から生じる収益に関する主要な事業における主な履行義務の内容及び当該履行義務を充足する通常の時点（収益を認識する通常の時点）は以下のとおりであります。

#### ① 工事契約

工事契約については、建設事業において長期の工事契約を締結しております。当該契約については、一定の期間にわたり履行義務が充足されると判断し、履行義務の充足に係る進捗度に基づき収益を認識しております。進捗度の測定は、各報告期間の期末日までに発生した工事原価が、予想される工事原価の合計に占める割合に基づいて行っております。

### (4) その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

#### 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

### (会計方針の変更)

#### (収益認識に関する会計基準等)

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号令和2年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。）等を当事業年度の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

収益認識基準等の適用による主な変更点は以下のとおりです。

収益認識会計基準等を適用したため、前事業年度の貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「完成工事未収金」の一部は、当事業年度より「契約資産」として表示し、「流動負債」に表示していた「未成工事受入金」の一部は、当事業年度より「契約負債」として表示することといたしました。

## 2. 株主資本等変動計算書に関する注記

### 当事業年度末における発行済株式の数

普通株式 40,000株

### 当期純損益金額

当期純損失 19,992,512円